

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Cコート 第1試合 深谷市民体育館

チームA		19 - 34	}	122	チームB
市立船橋	121	34 - 16		県立北中城	
千葉		27 - 27		沖縄	
		15 - 18			
		26 - 27			

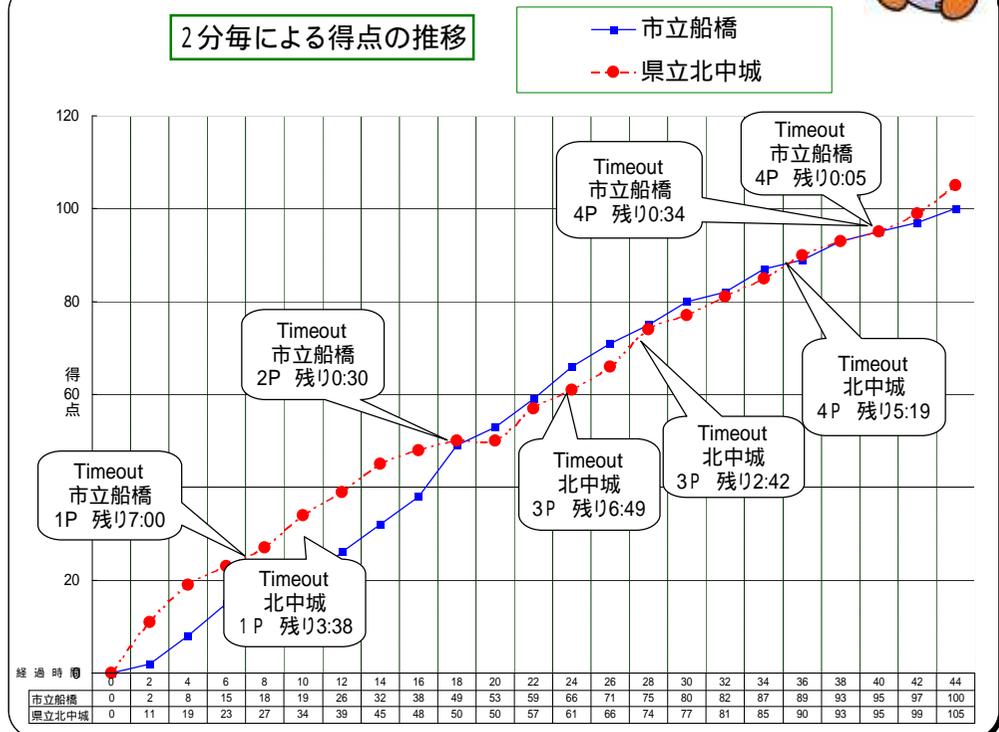
市立船橋

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	星野拓海	X	14	1	4	3	14	5	6	1	6	7	3	5	3	3	47
5	和田保彦	X	22	2	6	7	11	2	2	5	0	7	4	2	6	1	51
6	三富修平	X	21	0	1	9	19	3	4	2	7	8	2	1	0	2	40
7	河合智平		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	鍵富壘		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	渡部大樹		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	森山翔太	/	14	0	0	7	7	0	0	1	2	1	1	1	1	1	5
11	藤岡昂希	X	14	1	1	4	5	3	4	2	2	5	6	0	2	3	36
12	安田太樹	/	24	0	0	10	21	4	6	2	1	3	4	1	2	0	52
13	齋藤混太	X	12	0	2	6	11	0	0	2	2	3	3	5	1	1	44
14	岩崎翔也		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	葛尚也		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コーチ	近藤義行																
出場: ×は先発、/は出場			121	4	14	46	88	17	22	15	20	34	23	15	15	11	275
確率				28.6%		52.3%		77.3%									計 54

県立北中城

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	砂川貴哉	X	32	3	8	11	17	1	3	4	3	9	8	5	2	2	52
5	大嶺心	X	9	0	0	4	8	1	2	2	3	0	2	2	1	0	55
6	横田健太郎	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
7	岸本隆一	X	48	7	22	12	17	3	7	5	0	2	2	3	3	0	45
8	屋宜昂希	X	18	4	13	3	5	0	0	2	0	1	3	3	3	0	53
9	近藤成一	X	8	0	0	4	6	0	0	5	2	2	0	2	1	0	29
10	新里航平	/	3	0	0	1	3	1	1	1	1	1	0	0	0	0	7
11	伊差竜真	/	2	0	0	1	3	0	0	1	2	1	1	1	1	0	7
12	宮里徹	/	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	4
13	下地恵吾	/	4	0	2	2	4	0	0	2	2	1	1	0	0	1	21
14	仲里翼	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	福山竜朗	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コーチ	金城パーニー																
出場: ×は先発、/は出場			124	14	45	38	64	6	13	22	13	17	17	18	11	3	275
確率				31.1%		59.4%		46.2%									計 30

2分毎による得点の推移



戦評
平均身長186cmながら速い展開が持ち味の市立船橋と、オフェンス・ディフェンス共に攻撃的スタイルが持ち味の北中城の1回戦屈指の好カードとなった。
第1P 両チーム共にハーフマンツーマンでスタートする。北中城は出だしから積極的にディフェンスでプレッシャーをかけ、市立船橋のターンオーバーを誘い、#7岸本の連続得点で34対19 北中城リードで終了。
第2P 市立船橋が北中城#7岸本にフェイスガードをシフトすると、アウトサイドシュートが入らず得点が伸びない。市立船橋はファーストブレイクから#10森山が連続して得点し一気に追いつき9分に逆転成功。53対50 市立船橋リードで後半へ。
第3P 北中城は#7岸本がオフェンスリズムを立て直し得点するが、市立船橋もバランス良く得点し一進一退の展開となる。7分北中城#4砂川がファウルで交代するとミスマッチになるがリバウンドで粘りを見せ、8対7 市立船橋3点リードのまま第4Pへ。
第4P 北中城がリバウンドで粘り3分再逆転に成功するが、その後流れは一進一退のまま残り30秒95対95の同点で北中城ボール。残り10秒#7岸本の1対1から3Pシュートを放つが外れ延長戦に突入。
延長 北中城は#7岸本が1対1からアシストパスを成功させリードするが市立船橋も落ちてミスマッチを突き得点し105対105再延長へ。
再延長 運動量が落ちた北中城に対し、市立船橋は1対1から連続得点する。更に北中城#7岸本が5ファウルで退場し、一気に流れが市立船橋に傾くかと思えたが、北中城#4砂川が意地の連続得点で113対113 再々延長へ。
再々延長 市立船橋が総合力でリードするが、北中城は交代で投入した#10新里が4分に決定的な場面でリバウンドで粘り、ファーストブレイクからシュートで決め、122対121 北中城が市立船橋を振り切った。

主審	藤垣 庸二	副審	山岸 大輔	戦評	増田 義治 (埼玉県高体連)
----	-------	----	-------	----	----------------

3P: スリーポイントシュート、2P: 2ポイントシュート、FT: フリースロー、OF: オフェンス、DF: ディフェンス、TO: ターンオーバー、ST: スティール、AS: アシスト、BS: ブロックショット